

「<資産運用コンサルティングのポイント Vol14～ ～新しい積立型投資「バリュー平均法」とその 注意点とは～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。新しい積立型の投資方法として、昨今「バリュー平均法」が注目を集めています。「バリュー平均法」とは、あらかじめ運用の目標金額を設定し、目標よりも上回っていれば資産を一部売却し、下回っていれば追加購入する投資方法です。

積立型の運用方法として、定期的に一定金額ずつ買い続ける「ドルコスト平均法」が有名ですが、今回ご紹介している手法は商品の買付平均単価をより下げる効果があると投資家の関心を集めています。

しかし注意したい点もあります。例えば自分で買付時期や売却時期を決定する場合に比べ、相場の状況によっては、大きなリターンを逃すことになり、またはより大きな損失を被る可能性があります。運用を始める前に、さらに踏み込んで具体的にどのような投資方法で、どんな注意点があるかをしっかり確認しておく必要があります。

■ 「バリュー平均法」の仕組み

まず株式など価格が変化する同一商品について、今後定期的に積み立てていきたい目標金額を決定しますが、自分が将来得られると予想している収益率、つまり「期待リターン」と一致するように設定を行います。

そして定期的な見直し時期には、投資した商品の評価額が目標金額よりも低ければ割安だと判断し追加購入。逆に評価額が目標金額よりも高い場合は、割高のため少なく購入する、または資産の一部を売却するといった流れになります。このように資産評価額が目標金額になるよう、投資額を調整しながら積み立てていきます。

それでは株価が変動する状況において、4ヶ月間毎月1万円ずつ増やす目標設定をした場合の具体例を見てみたいと思います。

株価:1月 1,000 円、2月 700 円、3月 1,250 円、4月 1,500 円、5月 1,400 円

<バリュー平均法>

1月、10株購入

$10,000 \text{ 円} \div 1,000 \text{ 円}$ <保有株式数 10株>

目標の1万円を達成するために10株購入。

2月、19株購入

$(20,000 \text{ 円} - 10 \text{ 株} \times 700 \text{ 円}) \div 700 \text{ 円}$

<保有株式数 29株>

1月末の保有株式数10株に2月株価700円をかけて保有資産額を計算。2月の目標2万円にするために、2月株価700円で19株を追加購入。

3月5株売却 (30,000円-29株×1,250円)÷1,250円

<保有株式数 24株>

2月末の保有株式数 29株に3月株価 1,250円をかけて保有資産額を計算。3月の目標 3万円をすでに達成しているため、超過分 6,250円分を3月株価 1,250円(5株)で売却。

4月3株購入 (40,000円-24株×1,500円)÷1,500円 <保有株式数 27株>

3月末の保有株式数 24株に4月株価 1,500円をかけて保有資産額を計算。4月の目標 4万円にするために、4月株価 1,500円で3株を追加購入。

上記の場合は、目標を達成し利益をだすことができています。しかし、一方でデメリットもあります。

■「上げ」相場ではリターンを逃し、「下げ」相場では大きな損失

評価額が目標金額を超過している上げ相場において、自分で購入時期や売却時期を決める場合に比べ、利益を逃す可能性があります。先ほどの例で説明すると、3月に目標超過分として5株を売却しています。

しかし、その後も価格が上昇しているので、わざわざ売却せずに4月までそのまま保持してから売却した方が、より利益を増やすことができています。従って上げ相場では、資産の評価額が目標金額を少しでも超過した段階で売却してしまうためにリターンを逃がしてしまうわけです。

また、評価額が目標金額より低い下げ相場では、自分で購入時期や購入金額を決める場合に比べ、大きな損失を出すリスクがあります。今後株価が下がり続けると予想される場合は、投資を控えるのが賢明となります。

しかし下げ相場であっても、当月の目標金額を達成するために、より株数を増やして購入してしまうため、見直し時期の都度、損失が膨れてしまうことになります。

■その他の注意点は？

目標金額を下回った時のために、追加投資用の準備金を用意しておく必要があります。この準備金を他の商品に投資した方がより最適なポートフォリオになる場合においても、流動性が高い預貯金やMRF用などに確保しておく必要があるため、運用機会を失ってしまう可能性があります。さらに評価額が大幅に下がった際には、準備金が足らなくなり、投資を続けることができない場合もあるでしょう。

新しい積立型の投資方法として注目されているが、相場の状況によって損益が大幅に左右されます。その仕組みをしっかりと理解した上で、新しい投資方法の導入を検討していただくことがよいでしょう。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<日税FPフォーラム>

税理士向け・新サービス提供開始。今後益々ニーズが増えると予想される税理士・会計事務所の資産運用コンサルティングを総合的にバックアップする《日税FPフォーラム》の提供を開始しました。詳しくは下記ページをご参照ください。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuuadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488